

大空に羽ばたけ！新津二中の我が子らよ

<令和6年度卒業証書授与式 校長式辞>

今ほど、3年生の皆さん一人一人、しっかり卒業証書を受け取ってくれました。皆さん、とても清々しく素敵なお表情でしたね。これで正式に晴れて新津第二中学校からの卒業となります。あらためまして、卒業おめでとう。

特にこの1年間、中学生として望ましいあるべき姿を後輩に示しながら全校をリードし、すばらしい学校づくりをしてくれた卒業生の皆さん、本当にありがとうございます。すべての1・2年生や先生方を代表して心から感謝しています。

今日まで学校を支えてくれて、本当に本当にありがとうございます。ありがとうございました。

皆さんのこの3年間の輝かしい足跡は、皆さん一人一人の心の内の振り返りに委ねたいと思います。

私としては、この旅立ちの日にあたり、どんなにかいい言葉も、偉人と呼ばれる人物の格言も、有名人の成功体験も、何ら気の利いた話は全く用意していません。

私は皆さんとこの新津第二中学校で二年間だけのお付き合いでした。その間、私がずっと強く言い続けてきたことは、ただ一つのことのみです。

くどいようですが、そのことをあらためてお伝えして、はなむけの言葉、旅立ちの言葉、激励の言葉、そして惜別の言葉とします。

私が言い続けてきたこと、それは「常に周囲から自然に『愛され、応援され、励まされる』そんな人間」「常に周囲から自然に『愛され、応援され、励まされる』そんな集団」たれということでした。

このことは、高校に進学し、また社会に出てからなお一層必要な、一人間としてのあり様だと思っています。

「常に周囲から自然に『愛され、応援され、励まされる』」そんな生き方とはどのような生き方なのか？単純なことだと思います。

どんなことにも誠実に取り組む、誰にでもやさしく接する、どんな困難にもくじけない、他人の迷惑になることはしない、ルールを守る、つまり、当たり前前のことを当たり前前にできる、そんな生き方です。

「常に周囲から自然に『愛され、応援され、励まされる』」そんな生き方こそ幸せな生き方だと、私は信じて疑わないのです。

さて、この卒業生の晴れの日、ご臨席いただきましたご来賓の皆様、本日は誠にありがとうございます。そして、これからも卒業生を地域の一員として温かく見守っていただきたいと思います。

そして保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。本日のこの卒業生の成長した姿とともに、お子様の晴れの日を迎え、感慨もひとしおと推察申し上げます。

ご家族はもとより、我々教職員や全校生徒にとりましても、この新津第二中学校で、卒業生の皆さんと、同じ景色を見ながら共に喜怒哀楽を共有できましたこと、生徒の成長する姿を間近で目にできたこと、そして生徒とともに我々自身も成長できたことは、何事にも代え難いかけがえのない至上の喜びでした。

本日ももちまして、3年間お預かりしました大事なお子さまを、完全に家庭にお返しする日となり、正直とても寂しい思いでいっぱいです。涙があふれそうです。たいへん僭越ではありますが、今後とも私たちが心から愛したこの子どもたちを、どうかどうか宜しく願います。

卒業してからも、皆さんが、幸せな人生を歩むことを心から祈っています。決して、有名人になることや社会的地位や栄誉や富を手にするのが幸せではありません。

たとえ平凡な生き方、ささやかな人生と言われようとも、家族に感謝し、友人を大切にし、隣人を愛し、地域に貢献し、誰とも比べることのできない、あなただけの大切な幸せや生きがいをつかんでください。

私たちは約束します。皆さんがひたむきに誠実に粛々と黙々と必死に生きている限り、この学び舎で巡り合った縁(えにし)に感謝し、皆さんに、心の中で、大きな声で、ずっとずっとエールを送り続けます。

新津第二中学校第77回卒業生諸君！ 君たちの中学校生活を表現するならば、実に「あっぱれ」の一言でした。

卒業本当におめでとう。そして、新津第二中学校の生徒でいてくれて本当に本当にありがとう。

令和7年3月4日

新潟市立新津第二中学校 校長 貝塚 敦